

宮城 雨の中、政権打倒訴え行進

宮城県では、仙台市で開かれた県中央メーデーをはじめ、県内7地域で取り組まれました。県中央メーデーには、雨の中1600人の労働者らが会場を埋め、集会後、「戦争法を廃止しよう」「労働法制の改悪反対」と訴えながら一番町商店街などをデモ行進しました。



雨が降りしきる商店街を行進するメーデー参加者、(前列右から)高橋議員と安藤議長=1日、仙台市

集会では、主催者を代表して安藤満県労連議長が、全国に先駆けて宮城で野党統一候補が実現したことを心から歓迎したいと述べ、アベノミクスの破たんが明白になり、国民の怒りが政治を動かすつとめと指摘し、「安倍政権を倒すまで

頑張ろう」と呼びかけました。

日本共産党の高橋千鶴子衆院議員が連帯のあいさつをし、安倍総理が熊本地震を口実に、緊急事態条項は必要と改憲に

打倒安倍政権 県労連が宣言

仙台でメーデー集会

県労連は1日、仙台市青葉区の勾当台公園市民広場でメーデー県中央集会を開いた。写真。2500団体、約1600人(主催者発表)が参加し、安全保障関連法の廃止や安倍晋三内閣の打倒を目指す宣言を採択した。

安藤満議長は、参院選に向けて野党共闘が進む政治情勢に触れ「安倍政権に対する国民の怒りが政治変革のエネルギーとなってい

意欲を示していると批判。「市民と野党の共同で政治を変えていこう」と訴えました。

「みなさんの期待に応えるために頑張る」とした桜井充・野党統一候補(民進党公認)の決意が秘書から紹介され、15団体が決意などをアピールしました。

る」と強調した。共産党の高橋千鶴子衆院議員(比例東北)も参加した。参加団体は交代で壇上に立ち「保育士の賃上げを」

「原発再稼働反対」などとアピール。集会後は中心商店街をデモ行進し「戦争する国づくりはやめろ」と声を張り上げた。

